

丸の内プラチナ大学「逆参勤交代」秩父研修旅行記（2019.9.6～8）

2019年7月に丸の内プラチナ大学の「逆参勤交代コース」に入学した。この大学は三菱総合研究所と三菱地所が主催する市民大学である。因みに学長は三菱総合研究所理事長で元東京大学学長の小宮山宏氏である。逆参勤交代コースは地方創生と働き方改革の両立を提唱する松田智生氏（三菱総研主幹）の講座だ。この4月に地方創生に関する三菱総研主催の講演会に参加したことがきっかけとなった。逆参勤交代コースは座学2回とフィールドワークで構成され、地方を訪問して現状と課題を理解し、最終日に市町村長に地方創生のアイデアを提案する計画となっている。

今年の地方訪問地は①北海道上士幌町②埼玉県秩父市③長崎県壱岐市だった。以下はその研修旅行記である。

9/6（金）

- 1、西武池袋駅8時30分発特急に乗ること80分で秩父駅に到着した。飯能駅以降の車窓からの眺めは殆ど森林だった。秩父は初めての訪問地であるが、首都圏とは思えないような大森林の中にあった。秩父は、江戸時代は木材（江戸の大火）、明治時代は絹織物、昭和時代はセメントで栄えたそうだ。現在熊谷からの鉄道と西武鉄道の2本で繋がっている。10月の「龍勢祭」と12月の「秩父夜祭」が特に有名だ。
- 2、10時に秩父駅に集合して秩父市役所に向かった。今回参加者は研修生9人、三菱総研と地所、内閣府など関係者8人で総勢17名だった。またNHKが取材に来ていた。松田主幹と地域政策課の峯岸主幹より3日間のオリエンテーションがあった。しっかりした研修計画と秩父市役所のこのPJに賭ける熱意に感動した。旅行気分は消えた。
- 3、市役所の案内で以下を訪問した。

① 市庁舎

3. 11地震を契機に新庁舎になった。駐車場脇に亀のお宮がある。

② 番場通りの商店街

明治大正昭和の趣がある建築物が多々ある。西武鉄道のTVコマーシャルで若者の観光が増加している。

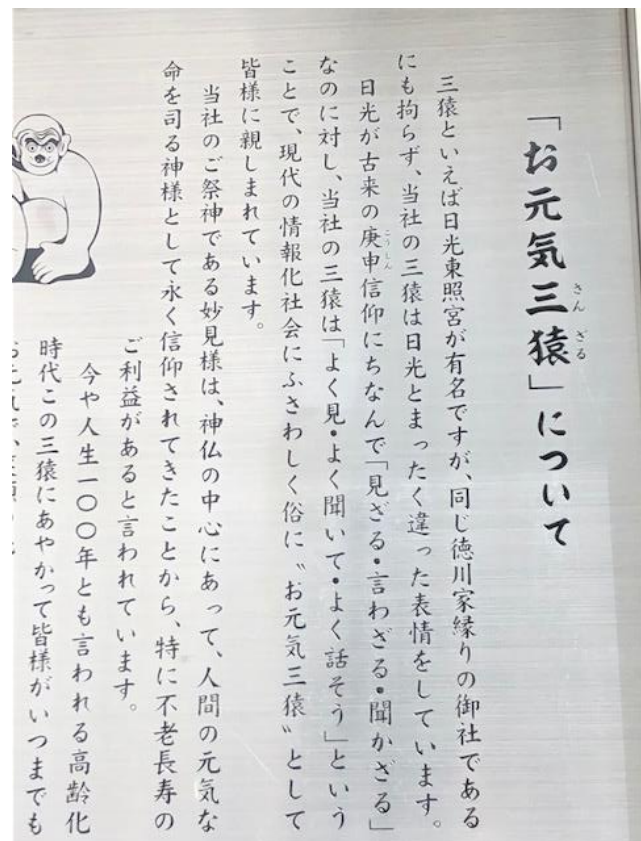
③ 秩父神社

日光東照宮で有名な「見ざる聞かざる言わざる」と対照的な「お元気三猿」の絵が面白かった。（写真参照）

④ ふるさと館でのランチ（そば料理）

⑤ 本町、中町通り商店街は、秩父市より景観条例で銀行支店やコンビニの看板もケバイ色ではない。

⑥ 秩父祭り館（写真参照）



12月初旬開催の「夜祭り」の様子が映像と大型模型で紹介されている。

⑦ FMちちぶ

10月に開局予定で秩父市の町おこしの為に若い女性3人で起業したそうだ。(写真参照、ラジオスタジオ)



⑧ 地元商店街幹部との意見交換

他の地方商店街と同じく店舗閉鎖がある。その背景は後継者問題と不動産価格問題などだそうだ。自治体は若者人口減少を主要課題として対策に注力している。

4、 17時にみやびホテルにチェックインして、18時から市役所幹部と商店街幹部と会食(高砂ホルモン店)した。秩父市と商店街の幹部は酒と豚ホルモンが好きだ。8時過ぎ散会となり、後は有志毎に分かれて酒場に行った。(写真参照)



5、 地元酒場「ShuHaLi」で2次会

市役所OBが経営しているとのことで役所関係者が多かった。秩父ウイスキーが大変旨かった。ホテルまでは徒歩10分だったが、街路灯が殆ど無いので迷った。(写真参照)

9/7 (土)

1、 9時から秩父市周辺のベンチャー企業などを探訪した。

① 10時 ウイスキー蒸留所

世界一の賞状やトロフィーの多さに驚く。試飲させて頂いたウイスキーが大変旨かった。10数年前に設立し現在30人雇用している。秩父の気候と水が特徴なので他社では真似が出来ないとのことだった。他社のウイスキーベンチャー企業の社員を受入れて製法方法を教えていた。(写真参照)



- ② 11時半 秩父ビール (地ビール製造工場)
- ③ 12時～兔田ワイナリーと兔田食堂 (ランチ)
- ④ 市所有住宅
- ⑤ 14時～コワーキングスペース



2、 15時～16時半に市役所で「移住者・地域おこし協力隊」と秩父市の課題について情報交換した。秩父市は7人を嘱託雇用している。この協力隊は国の補助金で運営されており、全国に5千人程いるそうだ。

3、 ホテルに一端戻り、18時から秩父茶房レストランで地域おこし協力隊と懇親会

4、 21時 西武秩父駅前のスーパー銭湯



最近完成した豪華スーパー銭湯である。露店風呂とサウナ完備で休憩用のリクライニングチェアが素晴らしかった。料金は1200円。（左の写真参照）



9/8（日）

この日は朝から台風接近の予報があり、日程を少し変更して市長向け発表を早めた。

- 1 9時から12時までに秩父市の課題をベースに地方創生のアイデアをまとめ、「地域活性化シート（A4 2枚）を提出した。
- 2 12時～12:45 昼食 近くをSL列車が走っていた。（写真参照）
- 3 13時～14時半 秩父市長と副市長向けに地域活性化について一人3分ずつ発表した。起業専門学校設立、移住者と住民との協働イベントなどのアイデアが出された。私は以下のような提案を出した。

＜地方活性化シート＞

| | |
|------------------------|--|
| What 何をするか OOプロジェクト | CC2H（秩父セカンドホーム・プロジェクト） （参考） MM2H（マイ・マレーシア・セカンド・ホーム） |
| Why なぜするか | シニア世代はセカンドライフを求めている |
| Who 私はなにを担うか | 広報宣伝 |
| Whom 誰を対象に | 家族、知人、仲間を通じてシニア世代に広める |
| How どのように実現するか | SNS、FB、HPの活用 セミナー講師、パネラー参加などの伝道師 |
| キャッチコピー | 青年は、荒野を目指し、中高年は、もっと面白く生きる |

副市長からマレーシアの事例はゴルフ好きなシニア向けなのではとのコメント頂いた。ゴルフはMM2Hの魅力の一つだが、それ以外にも多くの理由があると回答した。

